



ガンバリス

朽網小学校 いじめ防止 公認キャラクター

くさみ

【学校教育目標】

強く正しく美しい朽網の子どもの育成

強く	体力を伸ばし最後までがんばる子ども
正しく	自ら考え正しく判断する子ども
美しく	思いやりの心をもつ子ども

第11号 令和7年3月13日
文責 西 清美



令和7年度 学校教育活動についての 保護者アンケートの結果について



保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、「学校教育アンケート」に多くの保護者の方々がご回答くださいましたことに深く感謝申し上げます。本校の教育活動の取組みについて、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。その結果を集約し、「児童アンケート」の結果と合わせて、下記のようにまとめました。

皆様からいただいたご意見を参考に、朽網小学校のよりよい学校教育推進に役立ててまいりたいと考えます。今後とも、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

記

1. 保護者アンケートの集約結果

質問の内容	よくあてはまる・ あてはまる	あまりあてはまらない・ 全くあてはまらない	分からない
毎日楽しく学校に通っている	91%	7%	2%
家庭で規則正しい生活を送っている	92%	7%	1%
食後の歯みがきや手洗い等の習慣が身に付いている	89%	10%	1%
毎日朝食を食べて登校している	96%	3%	1%
授業がわかり、学力が育っている	85%	11%	4%
自分で考え、話したり行動したりする力が育っている	88%	10%	2%
家族や友達を思いやる心が育っている	96%	2%	2%
健康で体力が付いている	96%	3%	1%
低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上を 目安に家庭学習に取り組むことができる	55%	43%	2%
家庭で読書をしている	41%	58%	1%
よくあいさつをしている	85%	13%	2%
学校は、学力が育つように、わかる授業改善に努めている	77%	3%	20%
学校は、個々に応じた学習指導に努めている	65%	7%	28%
学校は、子どもたちの豊かな心の育成に努めている	81%	3%	16%
学校は、体力づくりに力を入れている	70%	6%	24%
学校は安心・安全な環境になるように努めている	86%	1%	13%
学校は子どもたちの安全確保に努めている	87%	2%	11%
通信やホームページ、「tetoru」で情報を発信している	96%	2%	2%
学校は家庭への連絡を適切に行っている	92%	3%	5%
学校は保護者の相談に応じている	88%	1%	11%

裏面もお読みください。

2. 児童アンケートの集約結果

質問内容	よくあてはまる・ あてはまる	あまりあてはまらない・ 全くあてはまらない
学校へ行くのが楽しい	92%	8%
学校のきまりを守っている	91%	9%
朝ご飯を食べている	93%	7%
授業がよくわかる	93%	7%
友達や先生、家族、地域の方に進んであいさつをしている。	92%	8%
体育の学習以外に、運動やスポーツをよくしている	86%	14%
自分の考えを友達に説明したり、文に書いたりすることができる。	83%	17%
自分にはよいところがある	85%	15%
先生や友達は、よいところを認めてくれている	87%	13%

3. 集約結果から

- 多くの子どもが、「毎日楽しく学校に通っている」結果にうれしく思っています。児童アンケートでも92%が「学校に行くのが楽しい」と答えています。これからも、すべての子どもが「学校が楽しい」と思えるよう取り組んでいきます。
- 毎日、朝食を食べている子どもたちの割合が多いです。朝食は、一日の大切なエネルギー源となります。引き続きよろしくお願いします。
- さわやかな挨拶をめあてに、児童運営委員会を中心に挨拶運動に取り組んでいます。そのおかげで、挨拶を意識し、それがだんだんと自然にできるようになってきています。これからも挨拶の大切さを子どもたちに伝えていきます。
- 体を動かすことや、スポーツをすることで体力が付いているようです。5年生の全国体力・運動能力、運動習慣等調査でも、朽網小の子どもたちはすべての項目で全国平均を上回る結果でした。また、86%の子ども達が運動やスポーツをよくしていると答えています。学校でも、引き続き健康維持や体力向上の取組を行っています。
- 子ども達の学力が向上するよう、「考えを説明したり書いたりする力」を伸ばすため、学校では重点的に取組を行っているところです。本年度は、児童アンケートの結果を見ると、「自分の考えを表現すること」に対して肯定的な回答が昨年度より3%アップして83%、「授業がよくわかる」についても2%アップし、93%と伸びています。本年度、学習の中でのタブレットの活用を増やし、「個別最適な学び」や「協同的な学び」に力を入れていった結果ではないかと考えます。保護者アンケートでは、「わかる授業改善」と「個々に応じた学習指導」の項目について「分からない」がそれぞれ20%、28%となっておりますが、児童アンケートの結果から少しご安心いただけるのではないかと思います。個々に応じて「できているところ」「できるようになっているところ」を教員が積極的に認めさらに伸ばせるよう、引き続き指導に取り組んでいきます。
- △ 家庭学習・読書の習慣が定着していないようです。家庭学習、読書の時間は、各学年ともに少しずつ増えてきていますが、毎日継続するのが難しいようです。家庭学習では、宿題を含めて1・2年生は20分、3・4年生は40分、5・6年生は60分以上学習してほしいと思います。学校では、昨年度に引き続き、自学ノートコンテストを行うことで子どもたちの自主学習のへ意欲を高める取組をしています。意欲の高まりは感じられようになりましたが、習慣付けまではできていないと推測されます。これからは、自主学習を習慣付ける必要があると考えています。読書については、学校では、子ども達に少しでも本に興味をもってほしいと、給食時間に学校図書館職員の阿比留先生にブックトークで読み聞かせや本の紹介を毎週、低・中・高の順に行ってもらっています。また、新たな試みとして、3学期から「子ども読書ボランティア」による読み聞かせを、昼休みに行うようにしました。学校においてもご家庭においても、少しの時間でも読書を毎日するように心がけてほしいです。

アンケートの結果をもとに今後の教育活動をよりよいものにしていこうと考えています。ご協力ありがとうございました。